



《本県の教育目標》

- ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
- 郷土を愛し 協力しあう心を育てる

いばらき教育プラン ～ 基本テーマ

『一人一人が輝く 教育立県をめざして』
～ 子どもたちの自主性・自立性を育もう ～



《本市教育の目標》

- ひとりひとりの能力を開発し、豊かな人間性をつちかいます
- じょうぶな身体をつくり、たくましい心を養います
- 家庭や地域を力をあわせ、豊かな心を育みます
- ふるさとを愛し、協力しあう心を育てます
- 世界に視野を広げ、国際人としての自覚を高めます

『夢・感動・笑顔がひろがる 教育のまち ひたちなか』

《本校の教育目標》

夢や目標の実現に向かって、自ら考え、共に伸びる生徒の育成

～価値のある学びとなるように、全職員が協働して取り組む指導・支援体制を基盤として～

＜愛と夢のある学校＞

- ・正義感と心の安定に満ちた学校
- ・強い組織力と対応力のある学校
- ・地域に愛され、信頼される学校



＜めざす生徒像＞

- ・友愛と共同心に満ちた生徒
- ・正しい判断力のある生徒
- ・勤労を愛する生徒
- ・健康で礼儀正しい生徒



＜熱意と使命感のある教師＞

- ・生徒と共に歩む教師
- ・学ぶ意欲を引き出す教師
- ・熱い心をもち続ける教師



互いのよさを認め合い、自分のよさを発揮できる学級・学年・学校

生徒にとって学び甲斐のある学校
自立と主体性〔生徒〕

教師にとって働き甲斐のある学校
創意と協働性〔教職員〕

本年度の努力点と具体策 ～「新しい時代の教育」に向けて～

知識基盤型社会を生き抜き、持続可能な社会の担い手として求められる力を育成する教育活動の展開

- 文章を正確に理解する読解力
- 自分の頭で考えて表現する力（教科固有の見方・考え方）
- 情報を主体的に選択し、活用する能力
- 対話や協働経験を通じて育む共生の力

確かな学力を育む

- 学力向上の基盤となる親和的な学級・学年経営
- 体験活動や作業、対話のある、能動的な学習活動
- 学習規律の確保と学習習慣の定着
- 全職員が協働して取り組む特別支援教育の推進
- ・適切な合理的配慮の提供
- 若手教員の授業力向上と学びの質を高める研修

豊かな心を育む

- 個々の居場所がある魅力ある学校・学級づくり
- ・互いのよさを認め合う「校訓賞」の積極的な活用
- ・「笑顔プロジェクト」の推進
- 確かな生徒理解を土台とした生徒指導体制の強化
- ・不登校、いじめの未然防止
- 基本的生活習慣の定着と規範意識の向上
- ・挨拶運動や礼法指導の充実

健康・体力を育む

- 健康や体力づくりに努めようとする態度の育成
- ・適切な部活動の運営
- 健康や安全に係る自己管理能力と危機回避能力の育成（食育、防災教育）
- ルールの遵守や交通安全指導の徹底
- ・自転車用ヘルメット着用（休日着用の啓発）

共に歩む《地域との連携》

- 開かれた信頼される学校づくりの推進
- 地域人材の支援と協働による教育活動の工夫
- PTA、地域親、地域団体や関係機関との連携協力
- ・地元高校等と連携した魅力ある教育活動の展開
- 各種たよりや学校ホームページによる情報発信

《学校評価の重点事項（スクールマニフェスト 8項目）》

1 生徒が主体的に取り組む学習活動を工夫している。

〔教師 100%：昨年度 100%〕

2 課題解決に向けて、自分で考え自分から進んで取り組んでいる。

〔生徒 90%：昨年度 89.4%〕

《全国学力 茨城県：77.2%》

3 思いやりがあり過ごしやすい学級であると感じる。

〔生徒 90%：昨年度 91.0%〕

4 年間15冊以上の本を読んでいる。

〔生徒 75%：昨年度 74.1%〕

5 自然災害や不審者から、自分の安全を守るための行動ができる。

〔生徒 95%：昨年度 95.9%〕

6 体力テストの結果A+Bの割合を増やす。

〔A+B 60%：昨年度 60.6%〕

7 何か悩みがあれば相談できる安心感のある学校である。

〔保護者 90%：昨年度 90.7%〕

8 地域の教育力が生かされた教育活動が実践されている

〔保護者 90%：昨年度 94.0%〕

～ 命と人権は最優先（一人一人を大切に） 考え、交流活動のある学び 在校時間の縮減 ～